

GUEST

渡辺 太

(社会学者／鳥取短期大学国際文化学学科教授)



ゲスト・プロフィール―渡辺太(わたなべ・ふとし)

鳥取短期大学国際文化交流学学科教授。専門は社会学。地域文化、民俗宗教、社会運動に関心をもつ。著書に『愛とユーモアの社会運動論』(北大路書房)、『既成概念をぶち壊せ!』(共著、晃洋書房)、『芸術と労働』(共著、水声社)、『聖地再訪生駒の神々』(共著、創元社)など。

美術館を考え続けるプロジェクト#02 ミュージアム・サロンxiii

アートと社会と未来について

2022.02.20 [日] 2-4pm パープルタウンレンタルルーム

[倉吉市山根557-1]

参加費 | 無料
定員 | 20名(先着順)

昭和47年の開館以来、鳥取県立博物館は地域の歴史文化の継承・発展の拠点として、またその普及を通じた社会教育施設として活動を続けてきました。現在整備を進めている県立美術館は、博物館の遺産を受け継ぎつつ、より充実した環境で活動を展開させることで、人口減少時代の鳥取県の地域再生拠点として、その未来の姿を描こうとしています。

開館準備の期間中、そのビジョンを多くの県民の方々と共有し、意見交換を重ねながら、新しい美術館をかたちづくって行くためのひとつの試みとして、「ミュージアム・サロン」を開催します。このトークイベントでは、県内各地で活動されている方々をゲストにお迎えし、地域における文化活動やそのあり方、そして未来の美術館について考え、語り合うことを試みます。

今回はゲストに、地域を拠点とする文化活動や共同体、そこで起こるコミュニケーションと関係性についての実践と研究に取り組む社会学者の渡辺太(わたなべ・ふとし)さんをお招きして開催することとなりました。渡辺さんは、2018年の鳥取短期大学への赴任をきっかけに鳥取に居を移し、教鞭を執る傍ら、ローカルな文化の調査やそれに関わる問題の掘り起こしを手がけてこられました。

この会では、渡辺さんのこれまでのご活動についてお伺いしながら、鳥取の文化状況の未来について、また新しくできる美術館像や活動について、参加者を交えて意見交換する機会とします。ぜひお気軽にお集まりください。

HOST

赤井あずみ

(鳥取県立博物館／美術館整備局主任学芸員)



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

主催・問合せ | 鳥取県立博物館 美術振興課 〒680-0011 鳥取市東町2-124 | tel. 0857-26-8042 | email. hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp